

## 市長発言要旨

### 【発表事項】

#### ① 米沢市を舞台としたテレビドラマ放送について

このたび、米沢市と福島県の北塩原村・磐梯町を舞台とした テレビ東京制作のドラマ 『物産展の女～北塩原村・磐梯町・米沢市編～』の放送が決定しましたのでお知らせします。

このドラマは、「桑野 一弘（くわのかずひろ）」さんの同名小説を原作に制作された作品で、東京の老舗百貨店に勤める若手食品バイヤーと伝説のカリスマバイヤーが、地方ならではの「ここでしか味わえない」魅力を発掘し、物産展開催までの裏側を描いたヒューマンドラマです。

「食を守るは、人を守る」をキーワードに、バイヤーたちの熱い信念が描かれています。

これまでに、宮崎編・高崎編が放送されており、この作品で3作目になります。

主な出演者は、若手食品バイヤー役の平 祐奈（たいら ゆうな）さん、伝説のカリスマバイヤー役の山口 紗弥加（やまぐち さやか）さん、そして後輩役の杢代 和人（もくだいかずと）さんです。

このドラマには、小野川温泉や上杉神社など米沢を代表する名所をはじめ、米沢牛・米沢鯉など 米沢ならではの食べ物など、米沢の魅力が登場します。

放送は、9月23日に前編、米沢市は後編の9月30日に登場します。

放送エリアは、テレビ東京系列の放送局となっており、主に首都圏（1都5県）の皆さまに米沢市の魅力を知っていただきたいと考えておりますが、市民のみなさまにも TVer、ネットもテレ東、Lemino などの見逃し配信や、U-NEXT、Amazon Prime video などの有料配信で長期間ご覧いただくことができます。

ぜひ、ご家族や首都圏にお住いの御友人にも、ぜひお勧めしていただければうれしく思いますし、市民の皆さんにもこのドラマをご覧いただき、私たちが暮らす米沢の魅力を、改めて感じていただければと思います。なお、これを機に、テレビ東京とシティプロモーション全体の連携を深めていきたいと思っています。

#### ② ネーミングライツ・パートナー募集結果について

今年6月1日から7月31日までに募集を行ってございました、「ネーミングライツ・パートナー」について、この度、優先交渉権者が決定しましたのでお知らせいたします。

今回募集した施設は、【米沢総合公園】【米沢市営体育館・武道館】【松川公園】の3施設について募集を行い、応募のなかった【米沢総合公園】以外の2施設についての優先交渉権者が決まりましたのでお知らせをいたします。

はじめに、【米沢市営体育館・武道館】の優先交渉権者は、岩手県一関市に本社を有し、南陽市に山形工場を構える『SWS 東日本株式会社』様となります。

ネーミングライツ料は希望価格税抜 80 万円に対し、年額 税抜 1 5 0 万円のご提案をいただきました。

つぎに、【松川公園】の優先交渉権者は、長井市に本社を置く『株式会社マツキ』様となります。ネーミングライツ料は希望価格税抜 60 万円に対し年額 税抜 90 万円でご提案をいただきました。

契約期間は令和 9 年 4 月 1 日からの 3 年間となり、各社から毎年頂戴するネーミングライツ料は、当該施設のサービス向上のために使用させていただきます。

現在、優先交渉権者となった 2 社とネーミングライツ・パートナーの協定締結に向けた協議を進めており、後日、愛称発表と協定締結式を実施予定です。締結式の日程が決まりましたら改めてお知らせします。

なお、今回応募のなかった「米沢総合公園」については、希望金額を減額する等内容をみなおして、再公募を行う予定です。募集の詳細は、改めて市のホームページで公開いたしますので、ぜひ、多くの企業の皆様にご応募いただければ幸いです。

### ③本市の製造品出荷額等の推移について

このたび、経済産業省から「2025 年経済構造実態調査 製造業 事業所調査」の速報値が公表されましたので皆様にご報告いたします。

本調査によりますと、本市の令和 6 年 1 月から 12 月までの製造品出荷額等は「5,730 億 7,929 万円」であり、山形県内で第 1 位、そして東北管内におきましても第 7 位という結果となりました。

本市は、2023 年・2024 年経済構造実態調査では、鶴岡市に次いで県内 2 位でありましたが、今回は 3 年ぶりに首位に返り咲きました。

令和 4 年は約 5,185 億円、令和 5 年では約 5,499 億円、そして、この度の約 5,731 億円と、近年は順調に推移しております。

製造品出荷額等の内訳を産業分類別で見みますと、最も大きな割合を占めるのが「情報通信機械器具製造業」で、全体の 33.9% にあたる 1,943 億円です。

次いで「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が、全体の 22.9% で 1,311 億円、そして 3 番目が「生産用機械器具製造業」で、全体の 9.2% で 528 億円と、これら上位 3 つの産業だけで、本市の製造品出荷額等の約 3 分の 2 を占めております。

この度の県内首位返り咲きは、日々、厳しい経済環境の中で創意工夫を重ね、情熱を持ってものづくりに励んでおられる市内企業・事業所の皆様、そしてそこで働く市民の皆様の弛まぬ努力の賜物であります。

私も市長就任以来、企業訪問を続けておりますが、特に今年に入り、企業さんからは「新しい設備投資を考えている」というお声を聞いております。これからも製造品出荷額が増えていく手ごたえを感じています。本市としても、政府の産業クラスターといった政策に沿って様々な施策を講じていきたいと思っています。これまでも産業技術総合研究所や山大工学部などと連携し、企業の後押しをしています。が、産業団地の造成も含め、積極的に製造業の後押しを続けてまいります。